

授業で使いやすい  
消費者教育教材  
小学校5・6年生向けWeb版

知っているようで知らない

# くらしとお金のヒミツ



主体的

対話的

で

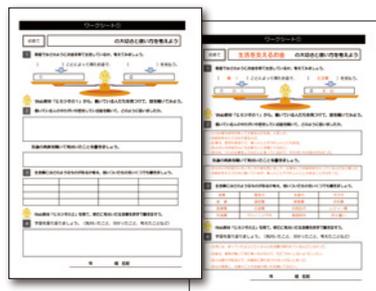
深い学び

の学習ができる!

## Web版消費者教育読本の構成



Web版消費者教育読本  
(3つのステージ)



ワークシート  
(エクセルでダウンロード可能)



指導書  
(A4判16ページ)

URLのご案内 <http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/center/kyoiku/web/shou03/>

東京くらしWEB から検索いただけます。消費者教育読本

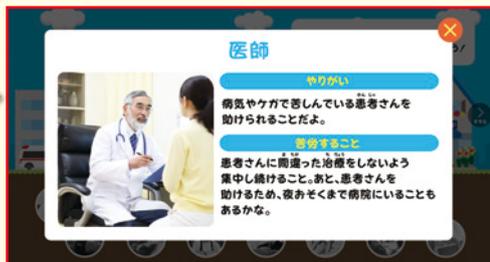
東京都消費生活総合センター

# ●● Web版教材のストーリーと学習項目 ●●



## ヒミツその1 お金って、いったいどこから来るんだろう？

小学校5年生の主人公「計画まもる」と一緒に、家族や町の人々がどんな仕事をして収入を得ているのか、町に出て話を聞きに行きます。生活するにはお金が必要で、家族が働いて得た大切な収入であることが学べます。



町の建物をクリックして「くわしく見る」のボタンを押すと、そこで働いている人から話を聞くことができます。



## ヒミツその2 生活するためには、ぜんぶお金が必要だよ

計画家の家の中を見ながら、家庭ではどんな生活費がかかっているか考えます。普段はあまり意識していないけれど、生活するためにはいろいろなことにお金がかかっていることを学べます。



ボタンを押すと… 部屋のどこかで電気が付いたり、水が流れたりして生活費を探すヒントが現れます。



## ヒミツその3 お給料の使いみちを考えてみよう！

計画家の家の人の立場になって1か月の給料で生活する体験学習をします。計画的にお金を使うためにはどうしたらよいか、自分の言葉で発言できるような仕掛けが満載です。



児童は、休みのイベントや誕生日にどのように過ごすかを考え、意思決定します。